

## 川内原子力発電所における防災訓練実施結果報告書の要旨

防災訓練実施日	平成25年8月30日	
想定した原子力災害の概要	全交流電源喪失、蒸気発生器給水機能喪失により原子炉の冷却機能が全て喪失し、原子力災害対策特別措置法第15条事象に至る原子力災害を想定	
防災訓練の項目	総合訓練	
防災訓練の結果の概要	参加人数	322名（協力会社30名）
	内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 通報訓練</li> <li>(2) 避難誘導訓練</li> <li>(3) アクシデントマネジメント訓練</li> <li>(4) 原子力防災要員の動員訓練</li> <li>(5) モニタリング訓練</li> <li>(6) 緊急時対応訓練</li> <li>(7) 緊急時操作演習</li> <li>(8) 緊急被ばく医療訓練</li> </ul>
	評 価	<p>原子力災害への事故対応等を適切に行えることを確認          昨年度訓練における改善点を反映していることを確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発電所対策本部内の会話とテレビ会議の会話の錯綜を改善            事故収束に取り組む、川内と本店の会話を優先し、支援側の玄海は、TV会議の映像確認や音声の聞き取りだけの情報収集に留め、必要時は電話連絡とする</li> <li>・津波襲来に関する所内周知頻度の改善            その後の余震による津波に備え、注意喚起を所内放送で断続的に実施</li> <li>・避難誘導における周知方法の改善            所内の避難者が避難先を把握しないことによる混乱をさけるため、所内放送により避難場所を十分に周知</li> </ul>
今後の原子力災害対策に向けた改善点及びその他の検討項目	<p>今回の訓練の改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発電所対策本部内において、これまでホワイトボードへの直接記入により情報共有を行っていた事故経過概要や発電所員の安否状況等の、情報整理のための記録用紙への記載や、掲示・保管方法についての検討</li> <li>・新たに設置した代替緊急時対策所における、初動対応（関係各所との情報共有に使用するTV会議システムの立ち上げ等）や、原子力防災要員のより迅速な参集方法等についての検討</li> </ul> <p>その他の検討項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福島第一事故を踏まえた全交流電源喪失発生によるシビアアクシデント事故を想定した訓練を継続するとともに、その他のシビアアクシデント事故を想定した訓練内容についての検討</li> </ul>	

上記のほか、平成25年9月25日に実施した要素訓練（通報訓練）についても報告。